

# 鹿児島市の重点 7分野の取り組み

## ～交通安全～

**目標** ●高齢者の交通事故減少、子ども（中学生以下）の交通事故減少、自動車による交通事故減少

- 取組**
- 高齢者
    - 参加・体験型の交通安全教室、夜光反射材の着用啓発 等
  - 子ども
    - 保護者等も含めた参加・体験型の交通安全教育（歩行中、自転車乗車中） 等
  - 自動車
    - シートベルト着用の啓発活動、高齢運転者への安全運転講習 等
  - モデル地区から提案された取組
    - 交通安全マップの作成



未就学児の交通安全教室

## ～DV防止～

DV：ドメスティック・バイオレンス（配偶者等からの暴力）

**目標** ●DVの正しい理解と気付きの促進  
●若年者に対する予防啓発の充実

- 取組**
- 市民全般
    - パープルリボンキャンペーンの実施 等
  - 相談員
    - DV被害者支援啓発講座の開催 等
  - 生徒・学生
    - デートDV講演会の開催、大学生による中高生向けデートDV講座の開催 等
  - 10～20代社会人
    - カードサイズDVリーフレットの商業施設への設置 等



パープルライトアップ（水族館）

パープルリボンキャンペーン

## ～学校の安全～

**目標** ●市立小中学生の校内等でのけがの減少

- 取組**（児童生徒の主体的な取組）
- 休憩時間のけがの減少のために
    - 校内パトロール
    - 危険箇所マップづくり
    - 「危険」などの表示
    - ポスターの掲示
    - 集会活動での呼びかけ
  - 部活動のけがの減少のために
    - キャプテン会議の開催
    - 入念な準備運動の実施



危険箇所マップづくり



集会活動での呼びかけ

## ～自殺予防～

**目標** ●中高年（50～69歳）の自殺者数の減少

- 取組**
- 自殺予防の普及啓発
    - 鹿児島市の自殺の現状周知・メンタルヘルス講演会等の開催
  - 50～69歳の周囲の人への支援
    - ゲートキーパー養成講座の開催
  - 相談しやすい場の設定
    - 既存の相談についてさらに相談しやすい場所・時間・方法の検討
  - 相談窓口の周知
    - 無料相談窓口案内カードの充実 等



無料相談窓口案内カード

## ～子どもの安全～

**目標** ●「家庭内等での事故・けがの減少」、「子育て中の親への支援」

- 取組**
- 幼稚園、保育所等
    - 家庭内での事故・けがに関する情報の発信
    - 児童への安全教育
    - 職員による室内、園庭等の安全点検
    - 体力向上プログラム
    - 子育てに悩みがある保護者の相談及び子育て体験談の情報発信
    - 児童虐待予防の学習会
  - 母親クラブ、ふれあい・子育てサロン
    - 家庭内での事故・けがに関する情報の発信
    - 子育てに悩みがある保護者の相談及び子育て体験談の情報発信



児童への安全教育

## ～防災・災害対策～

**目標** ●桜島地区における避難体制の再構築

- 取組**（モデル地区である高免町町内会の取組）
- 住民の避難状況の把握
    - 住民一覧表を作成し、町内会・市・消防等で共有
    - 避難用家族カードと突合し、住民の避難状況を確実に把握
  - 避難行動要支援者の避難体制確立
    - 要支援者の支援について町内会で協議し、消防団が行う
  - 避難訓練の充実強化
    - 新たに作成した避難手順書に従い、避難訓練を実施



モデル地区による島外避難訓練

## ～高齢者の安全～

**目標** ●高齢者の転倒による外傷の減少  
●虐待や認知症への啓発・理解の促進

- 取組**
- 転倒予防に関すること
    - 転倒予防のための料理教室・講習会の実施
    - 転倒予防のための運動教室の実施
    - 住環境の改善
  - 認知症への理解
    - 認知症に関する意識啓発
    - 民生委員・認知症見守りメイトによる見守り活動

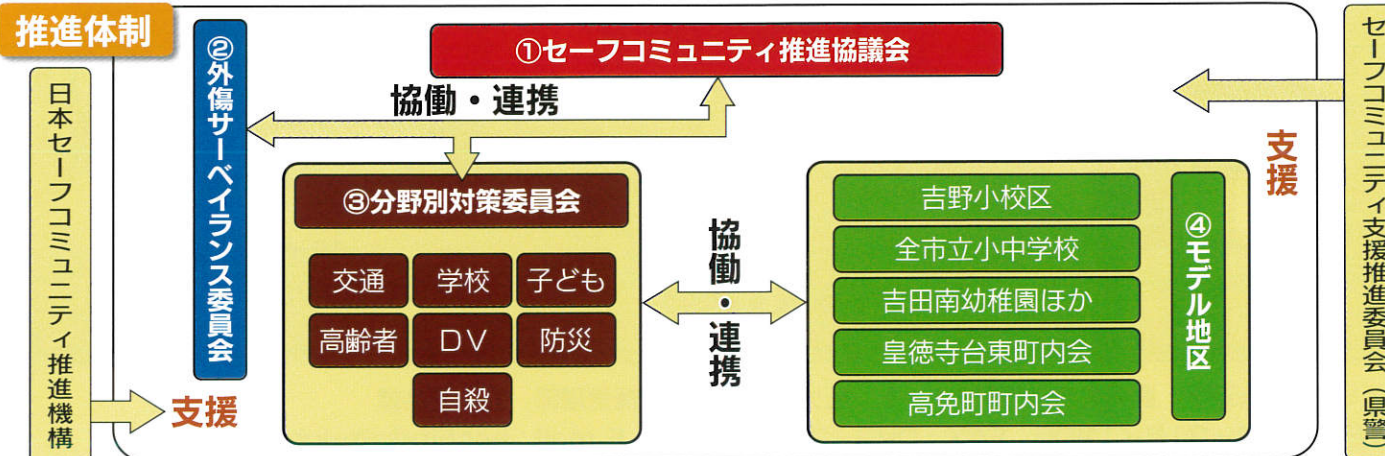


転倒予防教室



認知症に関する意識啓発

## 推進体制



# セーフコミュニティの3つの仕組み

**1 みんなで取り組む**

**2 根拠に基づいた活動をする**

例 高齢者の交通事故原因

1位	歩行中
2位	自転車乗用中
3位	自動車運転中

歩行者対象の交通安全教室の開催

**3 活動の成果を測定し、評価する**

例 交通安全教室参加者

○年	100人	↑ 増加
→△年	200人	

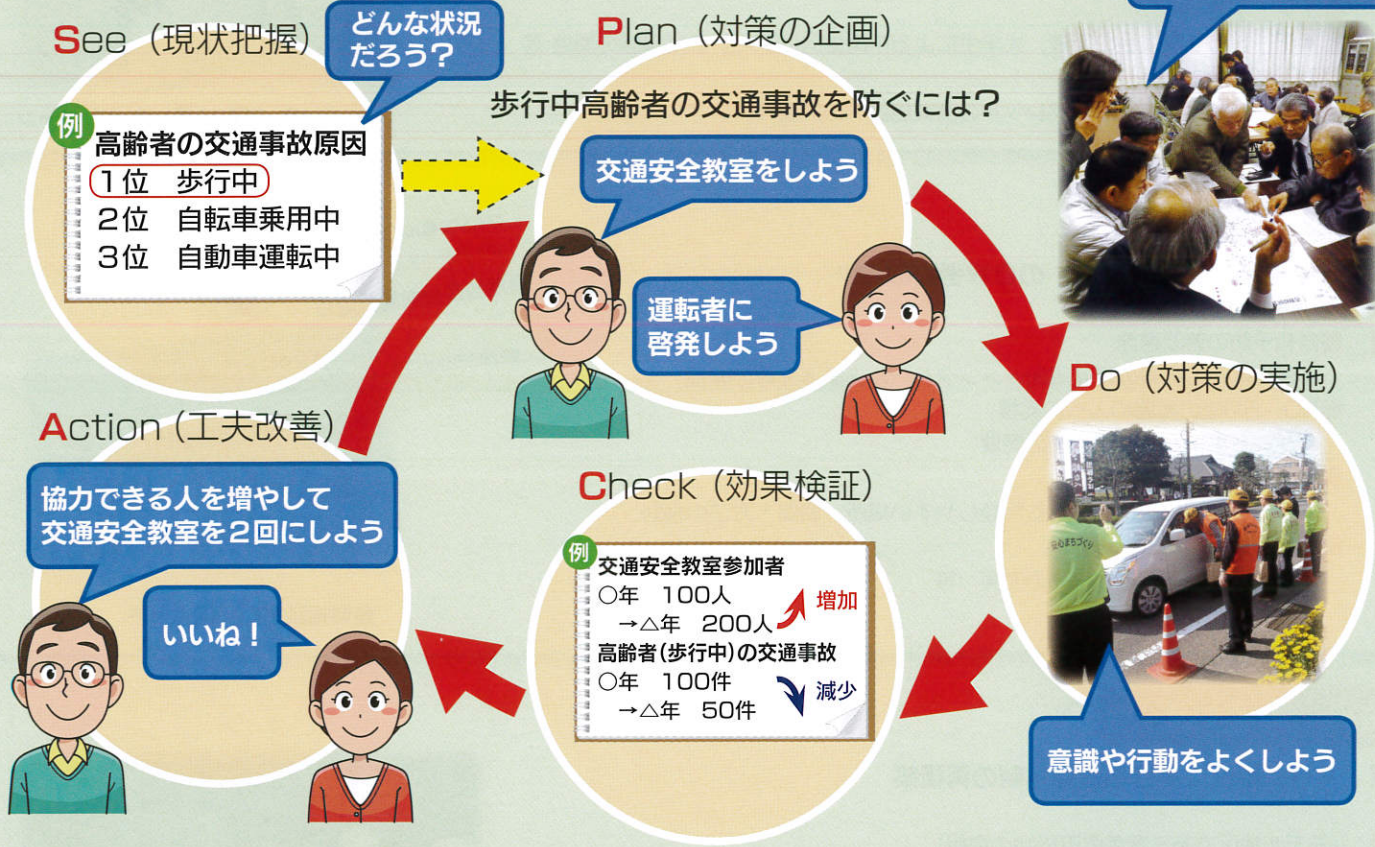
高齢者(歩行中)の交通事故

○年	100件	↓ 減少
→△年	50件	

～世界基準の安心安全都市を目指して～

# みんなで作るセーフコミュニティかごしま

## セーフコミュニティ活動 (S+PDCAサイクル)



世界基準の安心安全都市  
セーフコミュニティかごしま



a WHO initiative

## 認証までの取り組み

世界基準の安心安全都市を目指して、市長自らがセーフコミュニティに取り組むことを宣言しました。



取組宣言 (平成25年1月)

## セーフコミュニティ活動



本市が重点的に取組を進める7つの分野に対策委員会を設置し、地域住民、団体、行政が一緒になって事故やけがの予防活動に取り組んでいます。

本市のセーフコミュニティ活動を海外の審査員に審査いただきました。審査員から住民主体の取り組みに対し、高い評価をいただきました。



現地審査 (平成27年9月29日～10月2日)

## セーフコミュニティとは

「セーフコミュニティ」とは、「事故やけがは原因を調べ対策を行うことにより、予防できる」という考えのもと、みなさんの身近で起こっている事故やけがを予防する取組のことです。

これまでの地域活動や事業を生かしながら、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果をもとに、地域住民、団体、行政が一緒になって、安心安全なまちづくりに向け、より効果的で継続的な活動を推進します。